



- 芝野地区を例に、工事内容などを紹介します。
- 掘削工事の目的は「掘ること」ですが、工事を進める上で「運ぶこと」が重要です。
- 交通マナーの遵守はもちろんですが、安全対策にしっかり取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします



掘削現場に入るダンプは、転回所で方向転換します。  
(転回に時間を要し、ご迷惑をおかけしております)



掘削する幅は川岸から50m程度、厚さは深いところで3m程度です。(芝野地区では約93,000m<sup>3</sup>掘削)



バックホウでダンプに積み込みます。  
ダンプは1社1日最大15台程度です。



掘削現場から岩見川左岸の堤防等を走行して県道9号(空港道路)に出ます。  
その後、仮置き場である雄和新波地区等まで走行します。



新波地区の仮置き場(の一部)です。  
土砂が周辺に散らばらないように、大型土のうを積んだ範囲に置いていきます。この土砂は堤防を作るときに利用します。

この流れで1台が1日4回くらい運搬しますので  
最大180台程度(15台×3社×4回)が走行します。  
※場所によっては、小山地区や他機関のダンプも重なって、さらに多くなります。

学習の場などで現場見学をご希望される場合は、茨島出張所までお知らせください。  
場合によってはご希望の日時で対応できないこともありますのでご了承ください。